



朝鮮半島に平和条約を

朝鮮半島の三八度線は北と南を隔てる国境でしようか？

いや、実は「戦線」。ドンパチャやっていないだけ。正に戦争中です。

どうして？

一九四九年、大陸には中華人民共和国樹立。米国は台湾に脱出した蒋介石を支援し、中華人民共和国とは敵対。

この時、朝鮮半島では北が侵攻。朝鮮戦争となった。一時は国連軍(米軍)が鴨緑江近く迄北上。敵対している米軍が中国東北部(旧満州)に侵攻したら大変と、中国は「義勇軍」を送り北を支援。三八度線まで米軍を押し返して休戦協定締結。

朝鮮半島は戦争中

今は「休戦」状態。つまり、米国は北朝鮮に

勝利する意図を保持。

その米軍は核兵器、大陸間弾道弾、巡航ミサイルを多数保持。つまり「大量破壊兵器を現に持っている米国」

と「核兵器やミサイルなど大量破壊兵器を開発中の北朝鮮」が対峙。

その米軍基地がある所、即ち、日本列島を北朝鮮が狙うのは自明の理。

平和条約を結べば

この敵対状態を止めることが、北の核やミサイル問題を解決する第一歩。お互いに軍を引き下げ、相手を認め合い、攻撃しないことを誓約すること、即ち、平和条約を結ぶことではありませんか？

南北体制は違っても三八度線の国境を通して往き来して離散家族も会うことが出来る。

あなたは どう思いますか？

長野の元農家

長野県大町市

二〇一七年四月



長野県大町市の郊外の元農家。ゆったりとした敷地。家の前にも裏にも菜園。こういう暮らしには無いかな？

現代は都会に会社のオフィスや工場が余りにも集中している。ITが進んだ今、企業がもっと地方に分散するような政策をとることも出来よう。そうすれば皆、ゆったりとした生活が出来るだろう。

ところで、裏の菜園の一隅はネットで覆っていた。猿が荒らしに来ると云う。

昔は広葉樹林が中心の山も、杉や檜の針葉樹林に変わり、猪や鹿には住みにくくなった。

一方、人間界では若い人が減り、猟師も減少。そんな事情で猪、鹿が人里に現れ、猿も人里に降りるようになったのだろう。

先週、先々週はお休みしました

